

埼玉立命

立命館大学埼玉県校友会

第13号 THE SAITAMA RITS

2001年7月28日発行

編集人 ●「埼玉立命」編集委員会

発行人 ●立命館大学埼玉県校友会

発行所 ●〒343-0023

埼玉県越谷市東越谷9-53
越谷司法ビル

TEL 048 (963) 2108

FAX 048 (963) 2147



なごみのひとときを

立命館創始130年・学園創立100周年、さらにアジア太平洋大学の開学を経て、ますます進展する母校。新世紀に向かった立命館は、今、エキサイティングにはばたいている。
埼玉県校友会が発足して12年目。新しい時代とともに大きな一つの節目を迎えているが、現在、

出会い、再会、心はずむ一日。 感動のドラマの幕明けです。

きたる9月9日(日)午後1時より、立命館大学埼玉県校友会の総会・懇親会が、ホテルアル・サ清水園で行われる。躍進する母校とともに、憩いと喜びの感動のドラマの幕明けだ。

立命館創始130年・学園創立100周年、さらにアジア太平洋大学の開学を経て、ますます進展する母校。新世紀に向かった立命館は、今、エキサイティングにはばたいている。

第12回総会と懇親会のご案内

第12回総会と懇親会を開催いたします。万象お繰り合わせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

日時 九月九日(日) 午後一時～五時

場所 ホテルアル・サ清水園(電話〇四八・八五五・二三四四)

さいたま市上落合二一三二(埼京線北与野駅前)

会費 男性 七、〇〇〇円(十年会費 三、〇〇〇円)

女性 五、〇〇〇円(十年会費 三、〇〇〇円)

新卒者(平成11、12、13年卒) 三、〇〇〇円

家族同伴 三、〇〇〇円

●総会は大学関係の来賓挨拶をはじめ、事業報告・計画、年度行事、会計報告。また、後半の懇親会は立食パーティ形式で、銀座並木通り合唱団など多彩なアトラクションを予定しています。
平成十三年七月
立命館大学埼玉県校友会

に根を下ろし、各方面で力強く活躍。さらなる人と人との触れ合いとその感動を深めようとしている。

たゆまぬ校友会活動が人の心を育て、人の輪を広げる。校友諸兄姉よ。改革変転の時代——お互いにもっと輝き、もっと煌めこう。それでは、9月9日、夢と感動の「赤き血潮」のみずみずしき一日を——。

株式会社 コスモ

代表取締役 岡 島 由 雄
(昭31理工)

有楽法律会計事務所

弁護士 西 垣 義 明
税理士 (昭40法)

東部ブロック

余韻絶ち難きひととき

豊岡雅範 一昭44経営

●気心も知れ合って

しばらく会わなかったが、顔を見ると懐かし、すぐ酒をつぎあつていった。忘年会は暮れの12月9日、東武線・大袋駅前の居酒屋つるせ。テーブルには鍋が湯気を立て、馴染みの陽気な女将の見立てた料理が盛り沢山に並べられてある。東部ブロックの集まりはここ数年なかっただけに、その期待も大きかった。

杉岡先輩の「今年は、忘年会をぜひやりたい」という一念。それを聞いて、私も久方に発奮したのだった。早速60数名をリストアップ。案内状送付、連絡、会場設営などをすすめていった。

初めての参加者に、いつもながらの多彩な顔ぶれ。出席者は、田中明、杉岡悦夫、村木紘一郎、三浦淳史、河本好令、中上昌彦、雑

賀勝治、太田義明、西垣義明、柳瀬喬敬、山本和稔、豊岡雅範、梶島康夫、吉田勝男、大橋正氏ら15名。

自己紹介に始まり、京都での思い出、それぞれの近況、校友会の



楽しく陽気に (12月9日)

将来展望など尽きることなく語られて話題沸騰。まさに、立命パワ

総会専用のメールアドレスを開設

どうぞ、お気軽にご活用を――

総会・懇親会の問い合わせ・ご意見に対応するため、専用のメールアドレスを開設しました。お気軽にご活用ください。

E-mail: rits@qyg.homeip.net

このアドレスは、校友会本部のHPの各県校友会の連絡先にも載っていますので、そちらからのアクセスでも結構です。

1健在で、6時から始まった会は何と延々5時間に及ぶ。それでも名残りつきず、再会を期して暮れの街に散ったのだった。

明けて新年会は1月20日、夜半からの大雪をついての集まりとなった。同じ居酒屋の2階座敷大広間。雪見酒に酔うのは、前会のメンバーが少し欠けた10名。新年の楽しいお酒と談笑。時がたち、心の知れ合う輪の深まりが、この上なくこころよい。そして、しんと降る雪の風情に余韻絶ち難く、二次会は近くのバブでカラオケとなったのであるが、こうした動きから、新たな校友の熱いうねりが起こる。

県北東部在住対象の懇親会が、吉田勝男氏(昭47法)を中心にすすめられていったのである。

●久喜でミニ集会

五月晴れの日だった。ハガキやメールで出欠の確認をとりながら、期待に胸が大きくふくらんでいた。「立命館大学の集いIN久喜」は、5月22日、久喜のニュー八雲で開かれた。出席は、橋本宗義、岡部千津子、三浦淳史、三宅順、前田幸、柳瀬喬啓、吉田勝男、木藪和彦、肥後満朗、永田忠義、川上敏彦、宮井健爾氏らの12名。

お互いが近くの居住で、町内会のような気安い雰囲気。初対面だが、すぐ打ち解けて話しはがずむ。地元での集まりが何より。地域の校友の輪がどんどん広がっていくようで、3時間半があつてうまの充実のひとつだった。

豊岡雅範
(昭44経営)

技研興業株式会社

常務取締役 下野均
(昭34理工)

南部ブロック

春風吹く新河岸川を行く

大熊章一 昭52産社一

●花の歴史散歩に

歴史散歩も4回目、今年は県南地域、富士見川越有料道路と2カ所で交差しながら並行している「新河岸川」の周辺の歴史を訪ねる。4月1日、日曜日だった。

東武東上線「新河岸駅」に集ま



江戸時代の回漕問屋「福屋」で(4月1日)

つたのは14名。すぐに、満開の花舞う新河岸川の土手を「福岡河岸記念館」までぶらぶら歩く。橋の向こうの家並みの上に見える三階建ての大きな建物が回漕問屋・福田屋の離れ。平成9年に修理・整備、川越の繁栄を支えた新河岸舟運の記念館として、一般公開され

秩父路に校友の札所を訪ねる

10月13・14日、1泊旅行参加者募集

日本百観音霊場・秩父32番札所の小鹿野町にある法性寺は校友の荒谷俊文氏(昭49産社)が住職を務める禅宗寺院。本年10月、観音堂建立以来300年振りの本格的修理が完成、岩盤からせり出した掛け造りの華麗な姿が見られます。落慶直後の10月13日(土)、14日(日)に、その観音堂に参拝し、あわせて秩父札所の1・4番・31・34番を巡礼。宿泊は32番近くの露天風呂

呂のある旅館に1泊、住職と京都の話題などで盛り上がりましょう。

交通手段は、居住地近くの方々に車に乗り合わせ、3、4台くらいで向かいます。

詳しい旅程と地図をご入用の方には、電話かFAXで連絡いただければ郵送します。

企画幹事 大熊章一
〇四八(四三二)五五九一
(FAX兼用)

ている。

この3階の部屋まで上り込み、ひとしきり時代の雰囲気味わった後は、春風吹く土手の下でビールに昼食。焼き肉セットまで用意され、食べきれないほど。

●打ち上げ乾盃を

この後は土手の右岸左岸をひたすら下流へ歩け歩け! 富士見市の難波田城公園の難波田城資料館に入ると、武蔵野を駆けめくった

つわものたちの歓声を幻に聞くような思い。川越夜戦で難波田氏は敗れたといわれている。そして、最後は縄文前期貝塚の代表的な水子貝塚。ここで解散の予定が、駅はすぐそこだよと、地元の嵯峨先輩に引率されるままさらに2キロ歩き、駅前の白木屋で打ち上げ乾盃。

秩父札所 9番観音堂休憩所 34番讃仏堂施工
県内の文化財の屋根修理工事を多く手掛けています。
— 神社・仏閣 銅屋根工事 施工 —

(有)大熊板金

専務取締役 一級技能士

大熊章一(昭52産社)

公認会計士

鈴木昌治

(昭52経営)

監査法人トーマツ 代表社員

西部ブロック

フリーマーケット参加

真部はるみ 一昭46文一

●オリーブ基金にと

10月22日、爽やかな秋の日和の一日、狭山市にある西武文理大学主催のフリーマーケットに参加。約80店参加のもと、大勢の人々の賑わいに、朝から夕方まで汗みず

く対応した。松田浩章、西垣義明さんらの支援、また家族の協力を得て、西部ブロック有志によるフリーマーケット参加もこととして3回目。売上げは11万2700円。参加料などを引いて残ったお金は「瀬戸内海オリーブ基金」に寄付。これは、瀬戸内海の島々や沿岸に100万本の樹木を植え、人間と自然が共存する豊かな環境を取り戻そうという願いのもとに、弁護士の中坊公平さん、建築家の安藤忠雄さんの呼びかけで発足した。産廃で話題沸騰した豊島に、いつの日か、オリーブの森が生まれる。今回のささやかなフリーマーケットで得た金額では僅か10本分に過ぎないが、「埼玉立命」でもオリーブの木を植えるお手伝いが出来たのだと思っている。

エッセイ

「三三主義」に学ぶ

嵯峨 瞭 一昭37経済一

一九七四(昭和49年)の夏、岡山で今は亡き立命館大学名誉総長の末川博先生を囲む懇親会があった。席上、先生は「三三主義」と「他人に憎しみを抱く」ということを話された。

「三三主義」とは、運・根・鈍の三つの「三」である。「運」とはツキでもあり、人間には本来、

身体の一部に見えざる運命の烙印が押されている。だが、運がいい、悪いということだけで、物事をあまりにも安易に考えるな。もっと、自分を大切にせよ。また、「根」とは生きてゆく上で根気・根性は不可欠。最後の「鈍」は何事もマイペースで、コツコツと努力してゆくことこそが、本来の人

問のあり方である。「鈍」の反語に「鋭」があるが、これは時として「詐欺」「横領」「収賄」などの悪知恵を働かせる。例えば、この「三三主義」がその後の私の人生を基本的に大きく支えてくれた。そして、食品関連会社に勤める私に、先生は「食いもの会社は、ええと思うよ」と激励してくださったのだ。往事茫々、会社勤め三十九年を経て、このほどハッピーリタイヤメントしたばかりだが、末川先生の言葉はいつも熱く甦る。

サロン

新年会なごやかに

1月21日、新年会は大宮駅前「あづま路」で行われた。春の大雪の舞う一日、出席者24名。新年会の直前に開かれた幹事会では、より充実・果敢な埼玉県校友会のあり方をめぐって、積極的な議論も続出。

新年会の席になって、いつもの再会と団欒。何かと厳しい時代ながら、春の宴は華やかに和気藹々。酌み交わす酒と談笑の憩いの輪が、いつものように、また熱っぽく広がっていった。

近江屋成一氏逝去

2月26日、埼玉県校友会顧問・相談役の近江屋成一氏が逝去された。秋田中学を経て、1954年(昭和29年)立命館大学法学部卒。享年70歳。

1990年(平成2年)10月、埼玉県校友会が設立されたが、その初代支部長として、精力的に校友会活動の基礎づくりに専念。その後は後進の指導に情熱的に当たってきた。

ご冥福をお祈りいたします。

有限会社 イマジン

代表取締役 今川博文
(昭48理工)

嵯峨 瞭
(昭37経営)

中央ブロック

交流深める日々新たに

山本雅信 一昭35経済一

●話はずむ忘年会

忘年会は12月16日、上尾市役所前のまるまんで開かれた。参加者はお馴染みの三沢基之、村田三雄、松田浩章、村上勇、安藤善朗、竹内令、下野均、中上昌彦、田中和義、濱口昭朗、小玉秀生ら各氏。これまでもゴルフ、花見、異業種業界の方々との忘年会など、多彩な交流を深めてきているが、当日は病氣全快の三沢先輩が出席。一同、その元気なお姿に感動した。

かつて三沢先輩が立命創立50周年を祝して全学生に配布された記念品(湯飲み茶碗)を披露された時、また私も、日本の社会経済の復興期にある50年代当時の貧しくも、熱く懐かしい学生時代を思い起こしていたものだった。

三沢先輩の全快祝いとともに、

忘年会は話もはずみ、深更におよんだ。



上尾円山公園で花見の会

●花に酔い、人に酔い

恒例の花見の会は4月17日。今年の春は満開の花の出会い。

参加者は、松田浩章、安藤善朗、濱口昭朗、田中和義ら各氏。まず上尾駅西口集合、バスで西上尾第一団地行き終点下車。そこから、荒川堤の牧場で搾乳実演をじ

つくり見学。そして、搾り立ての牛乳・アイスクリームの美味に喉がゴクリ。

さらに歩を進め、目的の上尾丸山公園に来ると、たくさん花見客で賑わっている。万葉の花の風情に、心こめて用意された手作り

の弁当に舌鼓を打つ。ビールが喉を潤してゆく。再会と交流の喜び。尽きない談笑。これからお互い健康にだけは留意し、楽しいおつきあいをしていきたいものだ。花に酔い、人に酔う春の宴で

●平成12年度校友会年会費納入者

前川良平、曾田豊吉、村田三雄、田中三郎、和田義雄、大橋宗夫、岡島由雄、松田浩章、出石晃一、古賀久夫、佐藤吉朗、竹内令、新井勝、川崎秀磨、黒田満穂、下野均、杉岡悦夫、住成夫、千草啓一、中牟田雅、橋本豊英、矢野喜和、山本孟人、山本雅信、長谷川勇、安徳昌士、嵯峨暁、宮崎省二、吉見仁男、河本好令、川添修司、雑賀勝治、中上昌彦、永倉素子、前田幸、森靖夫、合田芳弘、小林俊之、宮井健爾、若杉秀雄、荒金豊久、田中和義、土井孝穂、中村晴男、西垣義明、太田義朗、山田修美、山本和稔、橋本宗義、濱口昭朗、松永健夫、真殿晏武、林浩二、久田征博、小出忠男、白勢淳一、倉掛光、小玉秀生、佐々木庸、谷澤正巳、馬場伸昌、梶島康夫、鈴木芳美、立入勤也、豊岡雅範、板東靖夫、岩上雄作、金丸一朗、小崎啓、諸隆雄、野口良信、真部はるみ、横田高弘、荻谷和彦、安田健一、吉田勝男、今川博文、木之下実、陶山正樹、中島繁春、髭野寿男、平田英勝、道脇久義、片山哲也、大熊章一、鈴木昌治、高木雅子、高橋豊、小野寺一、市川佳夫、須藤和英、村上武司、渡辺泰徳、杉林淳子、伊藤司、小田浩史、木村雅人、小林則一、鎌田浩士、木下修男、滝本俊明、宮沢直樹、小島輝之、柴森勉、宮沢明子、濱田泰彦、山崎絵里子

ペン・ワールド(世界の筆記具)

カタヤマ

片山哲也

(昭51経済)

坂東靖夫

(昭44理工)

株式会社 関電工

貸借対照表

平成13年3月31日現在

(単位:円)

(流動資産)				(流動負債)			
現金	金	64,157		短期借入金	金	0	
普通預金		0		(資本の部)			
郵便預金		497,820		剰余金		561,977	
仮払金		0		(内当期利益)		444,473	
合 計		561,977		合 計		561,977	

平成12年度収支計算書

平成12年4月1日～平成13年3月31日 会計:道脇久義

(支出の部)				(収入の部)			
定期総会・会場費		369,087		年会費収入		321,000	
印刷・通信費		119,015		定期総会・会費収入		246,000	
交際接待費		98,180		寄付金収入		508,000	
幹事会会場費		75,125		雑収入		30,880	
当期損失金		444,473					
合 計		1,105,880		合 計		1,105,880	

平成13年度収支予算書・予実表(案)

平成13年4月1日～平成14年3月31日

(支出の部)	前年度予算	前年度実績	本年度予算	(収入の部)	前年度予算	前年度実績	本年度予算
定期総会費用	700,000	369,087	400,000	前期繰越金	97,138	97,138	541,611
印刷・通信費	300,000	119,015	300,000	年会費収入	450,000	321,000	300,000
交際費・寄付金	150,000	98,180	150,000	広告収入	42,000	0	100,000
幹事会会場費	120,000	75,125	120,000	寄付金収入	500,000	508,000	300,000
その他雑支出	100,000	0	100,000	その他雑収入	50,000	30,880	50,000
次期繰越	119,138	541,611	521,611	総会会費収入	350,000	246,000	300,000
合 計	1,489,138	1,203,018	1,591,611	合 計	1,489,138	1,203,018	1,591,611

寄付金の協力者名簿

埼玉県校友会では各校友のご支援にもかかわらず財政ピンチにつき、通常会費に加え維持会費(寄付金)として、次の方々の協力を得ました。

(1口2000円)

岡島山雄(25口)、鈴木昌治(15口)、松田浩章(10口)、常田幸正(10口)、中上昌彦(10口)、永倉素子(10口)、横田高弘(10口)、今

川博文(10口)、竹内令(5口)、下野均(5口)、山本雅信(5口)、西垣義明(5口)、田中和義(5口)、椎島康夫(5口)、杉岡悦夫(3口)、濱口昭朗(2口)、道脇久義(2口)、千草啓一(1口)、嵯峨嶺(1口)、雑賀勝治(1口)、豊岡雅範(1口)、真部はるみ(1口)、米田健三(1口)、木之下実(1口)、大熊章一(1口)、清原美保(1口)

事務局だより

●9月9日の総会・懇親パーティーに出席しましょう。感動の一日。母校の思い出、再会の喜びのひとつです。

●同封のご出欠のはがきをご投函(50円切手貼込み)されるか、専用FAXにてお送りください。

●立命館大学校友会本部ホームページに、埼玉県校友会の総会のための専用アドレスを設けています。ご利用ください。

●財政逼迫につき、機関紙『埼玉立命』12号の印刷費8万円については、すべて広告出稿した11名の校友の有志によりまします。『埼玉立

命』は、埼玉県在住の約2500名の校友に発送しました。

●年会費(3000円)をお納めください。埼玉県校友会活動資金としてご協力ください。

編集後記

ソフトに、しなやかに、校友だからこそ心が通じ、人の輪が広がる。笑顔は優しさに満ち、懐かしい匂いに満ちる。新たな展望に躍進する母校とともに、豊かな生を深める日々。埼玉県校友会リバイバル・アクション・プランの多彩な展開。美しく豊饒な宴。充実の誌面。赤き、ひたぶる血潮の構成です。

(太田)

HOTEL

URSA SHIMIZUEN

チャペルオープン

ご婚礼
ご宴会
ご宿泊に

北与野

Hotel アルーサ

清水園

埼京線北与野駅北口前

宿泊予約 048(855)2222

婚礼・宴会予約 048(855)2244

民族フォーラム事務局長

山本 孟人

(昭35経済)